

大阪ケイオス流 企業連携力の源泉は、 面白さやワクワク感を 共有して楽しむこと！

新しい価値を創造するべく中小企業が連携して活動し、数多くの成功事例を生み出している大阪ケイオス。理想の企業連携スタイルを模索しつつ、様々な取り組みに挑戦する3社が、大阪ケイオス流企業連携成功の秘訣を語り合った。

写真 北尾浩幸 photo_Hiroyuki Kitao 文中直照 text_Naoteru Nakai

が集まってくる。

松田 メンバーが協力してボールをいかに前に転がすか、そのためにいかに盛り上げていくか、ですね。

和泉 そう。そんな風に新しい仕事や物語をこれまで以上に前に進めていくためにも、さらに新しいメンバーに参加してもらおうかと検討しています。

原田 現在の大阪ケイオスは、21社十個人が参画していて、そのうち19名が株主です。また、全員が立ち上げ時から活動をともにしていますから、我々もメンバーの追加は初めてなんですよね。

和泉 まずは、オープンカフェ的なところで、大阪ケイオスの楽しむ姿勢や行動力を感じてもらって、ともに楽しめそうなストーリーがあれば、一緒に紡いでいきたいなあと。あくまで主役は私たちではなく、ストーリーですから。

取り組む側が楽しめば、物語は進行する

和泉 実は大阪ケイオス初の開発商品として、スマートフォン画面クリーナー『Picaho (ピカホ)』を3月に発売しました。これは金型製造時に粘着材や油汚れを落とす知恵から生まれた商品で、大阪ケイオスメンバーが持つノウハウを結集して製品化にこぎつきました。大

企業の手を借りることなく自社開発商品を生み出して発売できるのは本当にうれしいですね。

原田 夜の盛り上がりを実現した例と言えば『工場萌えツアー』や『工場萌え弁当』でしょうか。『工場萌えツアー』は、枚岡合金工具の古芝さんが工場地帯の夜景に感動する『工場萌え』を知って「自分の工場に来る見学者は全員工場萌えだよ!」と言いはじめて(笑)。その言葉をきっかけにコンソーシアム型インターンシップを『工場萌えツアー』と称して

企画し、26名の学生に経営者体験してもらいました。この時は、学生が『福社長』の名刺を持って社長の付き人となり、本当の経営者の仕事を学んでもらったんですよ。

松田 当社にも『福社長』の学生さんが来ましたが、社長がトイレ掃除をしているのを見て驚いてました(笑)

原田 しかも話には続きがあって、さらに「工場萌えをテーマに弁当を作ったらオモロイやろ!」という話から、実際に『工場萌え弁当』まで作っちゃいました。

松田 最近テレビでも取り上げられた『コマ大戦』もそうですね。心技隊という神奈川県で製造業が集まる団体が、技術を見える化する場として、各社が自社技術を活用して作ったコマで対戦するイベントを開催しているんです。我々は第二回大会から、運営スタッフとして大阪と京都の予選大会や関東での本戦をサポートしています。出場者以上に我々運営スタッフが楽しんでいました。

原田 夜、酒を飲みながらしたバカ話から商品が生まれて販路ができて、人が集まってメディアにもどんどん取り上げられていく。これが最高に楽しいんですよ。

みんなで経営を楽しむことが企業連携の力となる

和泉 大阪ケイオスの根底にあるのは、新しい『ことづくり』の動きを面白くやりながら、仕事を自分たちで創るという考え方です。

松田 どういう形で自社と大阪ケイオスの活動をクロスさせるかが、今後の課題でありポイントかも。経営者だけでなく社員も大阪ケイオスの一員だと考え、一緒にワクワク楽しんでもらえるように巻き込んでいくことを意識しています。

原田 活動がアクティブになれば負荷も大きくなりますし、各社の事情や会社規模も異なりますから、活動にかけられる時間や費用も異なる。だからこそ上手に活動と仕事をシンクロさせたい。参加度に差が出てくるのはしょうがない。でも、それをお互いに認めあえるからこそ、面白い活動ができていますね。

和泉 周囲の皆さんに大阪ケイオスがうまいっていると思われているのは、たくさん挑戦しているだけなんです。たくさん小さな挑戦をして、成功しそうだと思えばそこに集中する。誰かが助けてほしいと声をあげれば助けてもらえる。みんなが自分のノウハウを持ち寄るチームプレーが、どの企業連携よりもできているのは間違いないですね。

松田 誰かを頼らないとダメな時、大手企業ではなく仲間を頼れないと、これからの時代を生き残っていくことはできないでしょう。頼れる仲間と連携すれば何でもできることを大阪ケイオスで知りました。これからはさらなる『ことづくり』を進めていきたいですね。

原田 大阪ケイオスって共同受注や共同開発が中心業務ではないんですよね。「みんなで面白いことやって元気になるうぜ!」という、理屈抜きに経営を楽しんでいる経営者仲

間の集まりだと思いますし、企業連携の視点から見れば、それこそが企業連携の本質的な力なんじゃないかと思えます。プロセスを楽しみ、文化を創ろうとしているのを感じます。

和泉 我々の活動はストーリーが主役ですから、人材育成、情報発信、商品開発といったストーリーを進めていく。そのための企業連携であり、大阪ケイオスなんです。多くの人と楽しく今の時代を生きて、誰にとっても良い人生や時間になりたいんですよ。

一同 本日はどうもありがとうございました!

大阪ケイオスの取り組みの一部



1、2 「萌え」を意識したパッケージやナット型のニンジンなど、驚きと面白さが詰まった「工場萌え弁当」。
3、4 2012年3月に開催された「工場萌えツアー」は、25社が参加して関西の4つの大学の学生が参加した。
5 「全日本製造業コマ大戦」の様子。近畿予選G2京都場所では、マツダ株式会社優勝した。

Profile

株式会社大阪ケイオス

大阪市中央区道修町2-1-10
TEL_06-6232-0338
http://www.osakachaos.com/

株式会社新日本テック

携帯電話や情報端末に多く使用される電子部品や、光学部品、医療機器の製造に使用される超精密金型や超精密金型部品を製造する。

大阪市鶴見区浜2-2-81
TEL_06-6911-1183
http://www.sntec.com/

株式会社レイ・クリエーション

“情報をデザインする”をコンセプトに、医療系や工業系を中心に、Web、紙、映像、空間など様々なツールのデザイン制作を行う。

大阪市中央区道修町2-1-10
TEL_06-6228-1010
http://www.raycreation.co.jp/

マツダ株式会社

冷間圧造加工によるカラー、スパーサー、ブッシュ、特殊ナット、特殊ボルトなどの試作、金型製作、量産までを一貫して行う。

大阪市城東区新喜多2-4-19
TEL_06-6968-4981
http://www.matsuda-fastener.co.jp/